



## じんじをつくして てんめいをまつ

### そんけい すべき ムスリム の みなさま！

もっとも ちいさな そりゅうし から、 こうだい な うちゅう に いたる まで、 ゆいいつ、 ぜったいの しはいしゃ である ぜんのおの しゅ（スプハーナワタアーラー）は、 ちょうわ と ちつじよ を もって すべて を そうぞう されました。 そうぞう における この おどろく べき ちょうわ は、「スンナトゥッラー」すなわち アッラー の ほう と きそく とに いっち しています。 わたしたち に かされて いる のは この かみの ちつじよ と ほうそく に したがひ、 うちゅう に そんざい する いんがかんけい に そって こうどう すること です。

### しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

げんいん という わ の なか で おこる ものごとの ひとつ に、 しぜん さいがい が あります。 じしん などの さいがい を ふせぐ ことは、 とうぜん ながら ふかのう です。 しかし、 りせい、 かがく、 けいけん に てらして さいがい に そなえ、 ひがいを すくなく することは、 わたしたち の だいいち の ぎむ です。 これは また、 イスラーム が ぜったい てきな ふくじゅう（タワックル） という かんがえかた を もって めいじて いる こと でも あります。 わたしたち の しゅうきょう は、 はじめ から よぼう の ために できる ことは すべて おこない、 はたす べき せきにん は すべて はたして おく よう めいじて います。 その うえ で アッラー（スプハーナワタアーラー）に しんらい を おき、 ゆだね、 ふくじゅう する よう もとめて います。

よぼう の ために できる ことは すべて おこなった にも かかわらず、 それ でも つらい できごと が おこった なら、 しんぼう づよく、 がまん づよく、 アッラー の めいずる ところ を うけいれ なくては なりません。 じょうしき を もって じぶん が けいけん している じょうたい を みさだめ、 ゆだん や しっぱい、 あやまち から、 ひつよう な きょうくん を えなくては なりません。 ぜんのおの の アッラー（スプハーナワタアーラー）に こいねがい、 くいあらため、 ゆるし を もとめて いのり、 こんがん や せいがん を とおして アッラー の かご を もとめ、 その じひと たすけ を もとめる べき でしょう。

### しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

とうとい クルアーン に は つぎ の よう に あります。「ひとびと が その て で えて きた こと の ために、 りく にも うみ にも たいはい が あらわ になっている。 これは かのおかた が、 かれら に その おこなって きた こと の いちぶ を あじわわせる こと で、 かれら を [ ただしい おこない に ] もどらせよう として の こと。」<sup>1</sup> まったく その とおり で、 さいがい が もたらす ひさん な できごとの いくつか は、 わたしたち じしん の あやまち や たいまん による もの です。 ですから いしきてき に、 ようじんぶかき さいがい に そなえ ましょう。 あいすべき よげんしゃ（かれの うえ に しゅくふくと へいあん あれ）の、「アッラー は、 じぶん の しごと を かんべき な やりかた で なそう と する もの におよろこび になる」<sup>2</sup> という ハディース を、 わたしたち の みちびき と しましょう。

<sup>1</sup> Rum, 30/41.

<sup>2</sup> Tabarani, Mu'jam al-Avsat, 1/275